

■重点検討項目案に関連する各省の主な取り組み（案）

①科学的な リスク評価 の推進等	a) リスク評価、目標値等の設定	b) リスク評価の効率化に向けた新たな手法の開発・活用	c) 予防的取組方法を踏まえた未解明の問題への対応
基本計画	① A), B), C), D)	① B)	③
取組事項	<p>■リスク評価の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ばく露状況の把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各種モニタリングの取り組み【環境省】</li> <li>- 化学物質排出把握管理促進法における排出量及び移動量の把握・公表【経産省、環境省】</li> </ul> </li> <li>・有害性情報の把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各種毒性試験等の実施【厚労省、経産省、環境省】</li> <li>- 事業者の取組（Japan Challenge）（平成24年度で終了）【厚労省、経産省、環境省】</li> </ul> </li> <li>・リスク評価の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 化学物質審査規制法における優先評価化学物質の指定・リスク評価【厚労省、経産省、環境省】</li> <li>- 農薬取締法におけるリスク評価【環境省】</li> <li>- 非意図的生成物等、環境への排出経路や曝露経路が明らかでない物質を対象とした初期リスク評価等の取組【環境省】</li> </ul> </li> </ul> <p>■目標値等の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準等の設定【環境省】</li> </ul> <p>■その他の取組</p>	<p>■リスク評価技術の効率化</p> <p>【総合科学技術会議、文科省、厚労省、経産省、環境省】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手法の効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>- QSAR等の活用</li> <li>・手法の高度化（多様化） <ul style="list-style-type: none"> <li>- WET (Whole Effluent Toxicity) の活用</li> <li>- ライフサイクルの全段階でのスクリーニング・リスク評価手法</li> <li>- トキシコゲノミクスの開発・活用</li> <li>- 海域のリスク評価</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>■その他の取組</p>	<p>■疫学研究の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質ばく露が子どもの健康に与える影響の解明（エコチル調査）【環境省】</li> </ul> <p>■評価技術・手法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内分泌かく乱作用の評価手法の確立と評価の実施【環境省、経産省】</li> <li>・複数の化学物質による複合影響評価や個体群・生態系への影響評価の検討【環境省】</li> <li>・ナノ材料のリスク評価手法の確立と評価【厚労省、経産省、環境省】</li> </ul> <p>■その他の取組</p>
<p>※作業用凡例</p> <p>1. 「基本計画」の欄は、該当する基本計画の記載を示しています。該当箇所は【参考資料1】P119以降をご覧ください。（一部、委員の意向により、基本計画に記載のない項目を追記しております。）</p>			

②ライフサイクル全体のリスクの削減	a) 化学物質の製造・輸入・使用段階での適切な規制の実施や、事業者の取組の促進	b) 化学物質の環境への排出・廃棄・リサイクル段階での対策の実施	c) 過去に製造された有害化学物質や汚染土壌・底質等の負の遺産への対応	d) 事故等により化学物質が環境へ排出された場合の措置
基本計画	② A), D), F)	② B), D)	② C)	② E)
取組事項	<p>■規制の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質審査規制法における規制の実施【厚労省、経産省、環境省】</li> <li>農薬取締法における規制の実施【農水省、環境省】</li> </ul> <p>■事業者の取組【厚労省、経産省、環境省】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮型製品等（化学物質の環境汚染防止に資するもの）の普及の状況</li> <li>レスポンシブル・ケア活動</li> <li>グリーンケミストリーの促進</li> <li>代替製品・技術の開発状況</li> <li>情報公開の状況</li> </ul> <p>■その他の取組</p> <p>(関連事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オゾン層保護法【経産省、環境省】、労働安全衛生法【厚生労働省】</li> </ul>	<p>■排出・廃棄・リサイクルにおける対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質排出把握管理促進法における排出量及び移動量の把握・公表（再掲）【経産省、環境省】</li> <li>ダイオキシン類対策特別措置法における取組【環境省】</li> <li>大気汚染防止法／水質汚濁防止法による取組【環境省】</li> <li>廃棄物処理法等に基づく有害物質を含む廃棄物の適正処理【環境省】</li> <li>バーゼル条約に基づく特定有害廃棄物等の輸出入管理【経産省、環境省】</li> </ul> <p>■その他の取組</p>	<p>■負の遺産への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌汚染対策法における取組状況【環境省】</li> <li>PCB 特別措置法の取組推進【環境省】</li> <li>農用地汚染防止法における取組【農水省、環境省】</li> </ul> <p>■その他の取組</p>	<p>■事故等への対応</p> <p>■その他の取組</p> <p>(関連事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防法、コンビナート災害防止法【総務省(消防庁)】</li> </ul>

※1 【】内には、当該政策等の主な担当・関係省庁を記載。

※2 (関連事項)には、直接的に環境保全を目的とするものではないが、特に委員から関係性が指摘されているものを記載。

※3 本表の記載にかかわらず、関連する取り組みがある場合には、点検時にその他の取組として記載するものとする。